

今月のトピックス

- ・起業家教育で、子どもたちが実践学習 ……《ばんび☆バザール》
- ・見合市 市内事業者が集結!! ……《かづの産業見合市PR》
- ・米粉、統一ロゴ・ブランド名が決定! …《ブランドアップ戦略レポート》
- ・「あとのまつり」 ……《室長コラム》

ばんび☆バザール

～起業家教育プログラムを実施しました～



熱心に講習をうける子どもたち

昨年度に引き続き、鹿角市内在住の小学3年生～6年生を対象とした小学生向け起業家体験プログラム「ばんび☆バザール」を9月15日・16日に実施しました。

次世代の産業を支える人材を育てるためには、子どもが本来持っている企画力・発想力・行動力を刺激し、「働くこと」の楽しさ・難しさを実体験を通して学ぶ「起業家教育」を早期から実施することが効果的と言われ、かづの商工会でも昨年度から取り組みを進めてきました。

起業家教育は、参加者が将来どのような職業に就いてどのような進路を歩んだ場合でも、全ての人に必要となる力を涵養するための、実体験を通じた教育です。

役職に就き責務を果たすこと、会社のメンバーで意見交換をすることでお互いの人となりを理解すること、現金を使用することで当たり前に扱っていた「お金」の大切さを実感すること、成果を発表することで自分の意見を伝える面白さを体得すること、そのような社会に必要とされる能力をプログラムの中で養うことができます。頑張ったからそれがいい



商品づくりも真剣そのもの



PRポイントをまとめてポスターに

結果になるとは限らないことや、答えは一つではないのだという当たり前の事実に向き合ってこそ、あきらめずに試行錯誤をしていく力や臨機応変に対処する力が身についていきます。

15日はかづの商工会を会場に、会社設立から事業計画書の作成、それに基づく資金調達、商品製造、広告宣伝ツールの作成までを行い、16日は会場をかづの元気フェスタに移して「各社」がそれぞれに製造した商品を販売し、午後からは決算報告、借入金完済、利益分配、そして社会貢献の理念を実践を通して学びました。

販売活動当日は気温30℃を超える真夏日のなか、初めての販売活動に戸惑い、なかなか大きな声を出せなかった児童たちも、うだるような暑さを吹き飛ばすかのような元気いっぱいの「いらっしやいませ!」という声を会場に響かせ、「販売の難しさと楽しさ」を体験しました。各社1時間ほどで用意していた商品を完売することができました。

またプログラム体験後のアンケートで「楽しかった」と回答している児童たちの大半が、プログラムの内容は「難しかった」「まあまあ難しかった」とも回答しており、「難しい」けれども「楽しい」と一見矛盾していますが、起業家教育には欠かせないチャレンジ精神を感じていることに、子どもの持つ可能性の高さを実感しました。

このプログラムは小学生を対象としていますが、中学生、高校生、社会人それぞれの事業スキームに合わせたカリキュラムの実施が可能であり、鹿角地域の「起業家教育先進地」としてのブランド確立を目標に取り組んで行きたいと思います。



はりきった商品説明に足をとめる方も多く



鹿角を代表する45事業所のモノとワザが集結! 地元のパワーを体感してください!

日時 平成24年11月15日(木) 午前11時～午後4時
場所 大湯温泉 ホテル鹿角

「かづの産業見合市 2012」は、市内の事業者間のマッチングによる新たな商品(技術)の開発や連携の強化などを図る「異業種交流の場」、そして「鹿角」を買っていただく「商談会の場」として開催するものです。市内の多彩な業界を代表する事業所が一堂に会する、数少ない機会ですので、ぜひご参観ください。また、特別講演を併せて開催しますので、どうぞご聴講ください。



特別講演 午後1時30分～
講師 (株)日本総合研究所 藻谷浩介氏
テーマ 農商工観光連携で地域に活力を!



講師プロフィール

山口県生まれの48歳。平成合併前3,200市町村の99.9%、海外59カ国をほぼ私費で訪問し、地域特性を多面的に把握。東大法学部卒業、日本開発銀行入行、米国コロンビア大学ビジネススクール留学、日本経済研究所出向などを経ながら、2000年頃より地域振興の各分野で精力的に研究・著作・講演を行う。2012年より現職。公職やテレビ出演多数。近著「デフレの正体」(角川 One テーマ 21)はベストセラーとなった。

【鹿角ブランドアップ戦略レポート】

コミュニティFM プロジェクト



緊張した様子のスタジオ内



第4回動画配信ゲスト
かづの商工会青年部長松浦さん(右)と
かづの商工会田中(左)さん

9月より開局のPRとスタッフのスキルアップを兼ねて、毎週木曜日午後8時30分から午後9時まで行っているインターネット動画配信も7回目となりました。毎回ゲストをお招きして、鹿角市のイベント情報などを中心にお伝えしております。ゲストと共にマイクに向かう緊張感に、やっと慣れてきたところです。またイベントなどで司会を務める機会もできました。様々な分野の皆様とつながりを実感しています。

開局に向けて、皆様からたくさんのご支援を頂き、書類申請まであと一息となりました。ご賛同頂きました皆様には心より御礼申し上げます。

インターネット動画配信。放送は毎週木曜日、午後8時30分から午後9時まで。動画配信アドレスは(<http://twitcasting.tv/kazunofm/>)です。



CFM発起人代表
安保朗さん

桃 花 プロジェクト

今年の桃もシーズン終わりを迎えましたが、今年は本当に美味しかったとの評判をよく耳にします。雨が少なかったせいとも言われますが、結局は栽培農家さんの技術力なんですよ。

さて、これまで3回のワークショップの中で話題となった「桃の香り」について、ちょっとした実験をしています。天然果実由来の桃の香り成分の抽出など、情報をお持ちの方がいらっしゃいましたら、どうか産業連携推進室までご連絡ください。

米 粉 プロジェクト

統一ブランド名・ロゴが完成!

●ブランド名称・ロゴについて

これまでプロジェクトメンバーがワークショップ(WS)で検討を行ってきたブランド名とロゴがついに完成しました!メンバーの熱い思い(魂)が形となった魅力的なプロジェクト名・ロゴとなっています。(ロゴ等については、本プロジェクトのアドバイザーとなっている㈱DDR・安藤竜二先生にもアドバイスを頂きました。)

今後は、今回完成したロゴ等を活用した統一ブランド商品が随時デビューしていくことになっており、その第1



米をモチーフにしたブランドロゴ

弾のお披露目の場として「かづの産業見合市2012」を予定しています。来月号以降、商品情報等も掲載していく予定ですので、どうぞご期待ください。

●プロジェクト第0弾・プレ企画“米たび”(鹿角おすすめツアーマップ)完成

消費者に、より商品の魅力を伝えるためには地域自体の魅力を一緒に伝えることが重要との視点から、今回米たびマップを作成し、PRを開始しました。(マップのルートなどは、WSの中でメンバーが協議を行い設定)今後は、商品と合わせ、これらのツールも活用しながら鹿角の魅力を全国に発信していくこととしています。



チャレンジショップがオープンしました!

平成24年度チャレンジショップ 「NAILSALON RAVEN」

鹿角市とかづの商工会が支援しているチャレンジショップ「NAILSALON RAVEN(ネイルサロンレイヴン)」が期間限定(9/29~2月中旬(予定))で鹿角市花輪上花輪にオープンしました。

チャレンジショップ開設事業はこれまでに経営などの経験がなく、これから商店経営や起業を目指している方(高校生以上)を対象として、独立開業に向けた実戦経験を積んでいただき経営ノウハウを習得していただく事業です。

平成24年度希望者を7月に募集し、応募いただいたのが店主・



谷地田町(グオ向かい)に
オープンしたサロン



田口さんオリジナルの
図柄のネイル

田口裕貴さんです。専門学校でネイリストとしての基礎を学び、その後アシスタントとしてキャリアを重ね、専門学校時代からいずれは地元・鹿角で開業したいと技術を磨いてこられました。“鹿角初のネイルサロン専門店”として、また“東北初のメンズネイリスト”として、お客様のニーズに合わせたサービスはもちろん男性目線のキレイやカワイイを提案しつつ、安全・安心なネイルサロンとしてしっかりとした施術と接客を心掛けていらっしゃるそうです。

「ネイルだけではなく、乾燥が気になるこれからの時季には欠かせない手肌のお手入れ方法や二枚爪などのお悩みもお気軽にご相談ください。」と田口さん。

沢山のお客様に立ち寄っていただいて、ご意見や感想をお話いただけたら嬉しいです!

お問い合わせ ネイルサロンレイヴン ☎090-7564-0025



店主
田口 裕貴さん

つぶやき~コラム~

あんなに暑かった夏もいつと無く終わり、急に肌寒くなってきた。思えば、今年の鹿角の夏も、熱い「まつり」が目押しだった。

「まつり」というのはいいものだ。力強く、躍動する若者、そして妖艶な舞…色々な要素が凝縮され、人々を感動の渦に巻き込む。

そして、老若男女、地域、先輩後輩、異業種等々、参加する全ての人達が日頃の様々な立場、壁を越え、一致団結一つのものに打ち込む、その姿がなによりも、一番素晴らしい事なのだと思う。

現在、これから到来するであろう、地域間競争を生き抜くための一手段として、地域ブ

ランドアップ戦略、農商工観連携を進めている。約1年半経過したが、思うことは、役所もよく言われるが、民間や市民間に意外に縦割り(グループ)が多く、その摺り合わせに時間がかかり、相手側が欲している絶好のタイミングを逃していることが多々あるということ。実にもったいないものだと感じている。こんなにも素晴らしいヒト、モノ、ワザがあるのに、皆が一つになって元気な鹿角に向かうことができれば天下無敵だと思う。実は、我が鹿角にはそれを可能とする、素地とパワーが備わっているのに気づいて欲しい。

さあ「後の祭り」にならぬよう、皆でみこしを担ごう!



ヒト・モノ・ワザ情報
お待ちしてます!